



カレンダーの統合

この章では、サードパーティの統合について説明します。

Google カレンダーの統合

Google カレンダーとの統合により、Google アカウントで Cisco Spaces に接続できます。これにより、会議室の予約情報が同期されます。Cisco Spaces デジタルサイネージは、Google カレンダーの予約情報を使用して、コンテキストに乏しい従来の会議室のリストではなく、マップベースの直感的なアプローチで利用可能な会議室を表示できます。

Office 365 予定表統合

Office 365 カレンダーを統合することで、Microsoft アカウントを Cisco Spaces に紐づけて、会議室のブッキング情報を同期できます。Cisco Spaces デジタルサイネージは、Office 365 カレンダー予約情報を取り込んで、マップベースのインターフェイスを使用して利用可能な部屋に簡単にアクセスし、可視化できます。この方法では、従来型の部屋リストよりも状況がわかりやすく、使いやすいエクスペリエンスが提供されます。

- [カレンダー GUI の統合 \(1 ページ\)](#)
- [Google カレンダーの統合 \(1 ページ\)](#)
- [Office 365 カレンダーの統合 \(3 ページ\)](#)

カレンダー GUI の統合

Microsoft 365 カレンダーの統合機能が Cisco Spaces で導入されました。この機能を活用して、Microsoft 365 カレンダーアカウントを Cisco Spaces アプリケーションに接続し、Cisco Spaces ダッシュボード [Menu > Integrations] で統合された予定表の詳細を表示します。

インポートされた予定表が Cisco Spaces : Space Manager (スペースマネージャ) アプリケーションに表示されます。

Google カレンダーの統合

Google カレンダーの統合により、Google アカウントを Cisco Spaces と連携し、会議室の予約情報を同期できます。Cisco Spaces デジタルサイネージを使用すると、コンテキストのない従来

のリストではなく、直感的にわかるマップにより利用可能な部屋を簡単に確認できます。この統合により、使いやすいデジタルサイネージアプリケーションでダイナミックな予定表データが表示されるため、会議室が有効活用できます。

手順

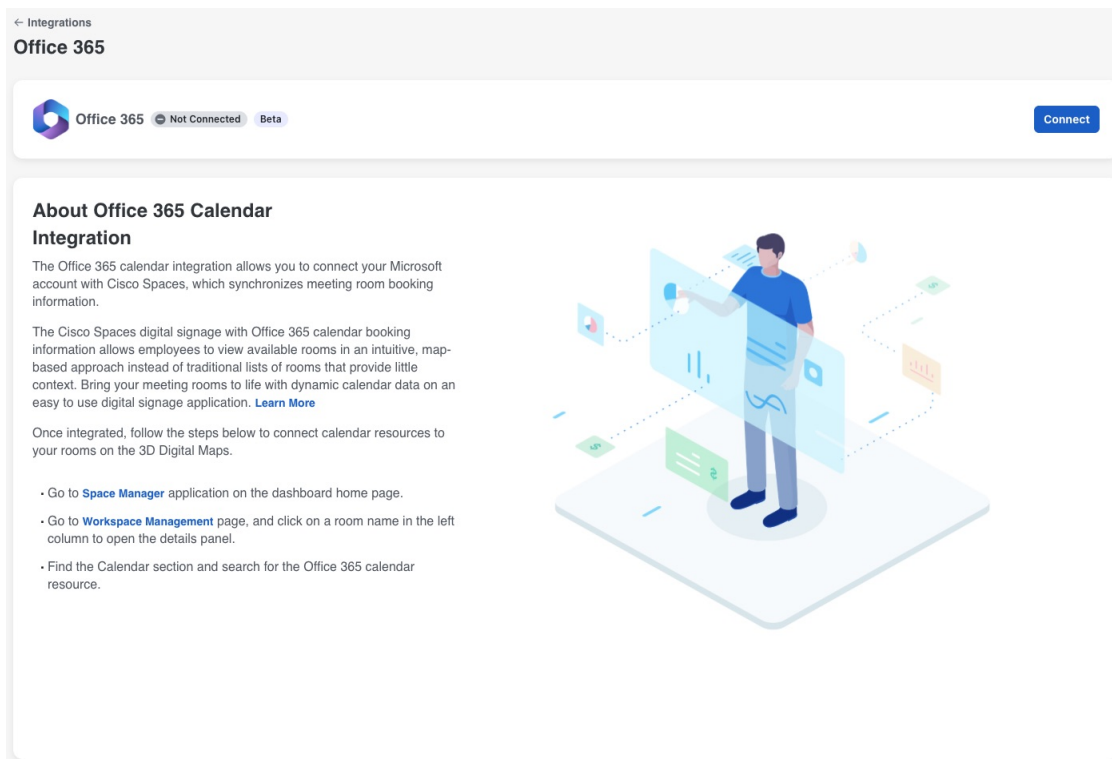
ステップ 1 Cisco Spaces にログインします。

Cisco Spaces **[Home]** ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 左上の隅から、**[Menu]** アイコン (☰) をクリックし、**[Integrations > Google Calendar Integrations]** を選択します。

[Google Calendar Integrations] ウィンドウが表示されます。

図 1: Google カレンダーの統合



ステップ 3 **[Connect]** をクリックします。

ステップ 4 **[Sign in - Google Accounts]** ポップアップウィンドウで、Google アカウントのログイン情報を入力します。

記載されている **[Sign in - Google Accounts]** ポップアップウィンドウからカレンダー予約を利用できる有効な Google アカウントを選択していることを確認してください。

ステップ 5 アカウントを確認したら、**[Proceed]** をクリックします。

ステップ 6 **[Go to dnspaces.io > Continue]** をクリックして、Google アカウントを Cisco Spaces と統合します。

「Calendar integration is successfull (カレンダーの統合に成功しました)」とのメッセージが表示されます。

ステップ7 統合された Google カレンダーの詳細は、[My Integrations] エリアで、接続されたリソース数とともに表示されます。緑色のチェックマークは、統合が成功したことを示します。

統合されたカレンダーは、Cisco Spaces : Smart Workspaces アプリケーションで使用できます。

- Google カレンダーの統合を削除するには、タイルビューで [Remove] をクリックします。
- 現在のアカウント統合を切断するには、[Disconnect] をクリックし、指示に従います。

次のタスク

3D デジタルマップで予定表のリソースを部屋に正常に接続するには、次の手順を実行します。

1. **Cisco Smart Workspaces** アプリケーションに移動します。
2. [Workspace Management] ウィンドウに進み、左側の列からルーム名を選択して [Details] パネルにアクセスします。
3. [Details] パネルから、[Calendar] エリアに移動し、Google カレンダーリソースを検索します。

Office 365 カレンダーの統合

Office 365 カレンダーを統合すると、Microsoft アカウントを Cisco Spaces とシームレスに接続でき、その結果、会議室の予約情報が同期されます。Cisco Spaces デジタルサイネージを Office 365 カレンダーの予約情報と組み合わせて使用すると、利用可能な部屋を表示するためのユーザーフレンドリで直感的なマップベースのアプローチが提供されます。このアプローチは、状況がわかりにくい従来の部屋のリストよりも非常に効果的です。使いやすいデジタルサイネージアプリケーションでダイナミックな予定表データを用いて、会議室を有効活用できます。

手順

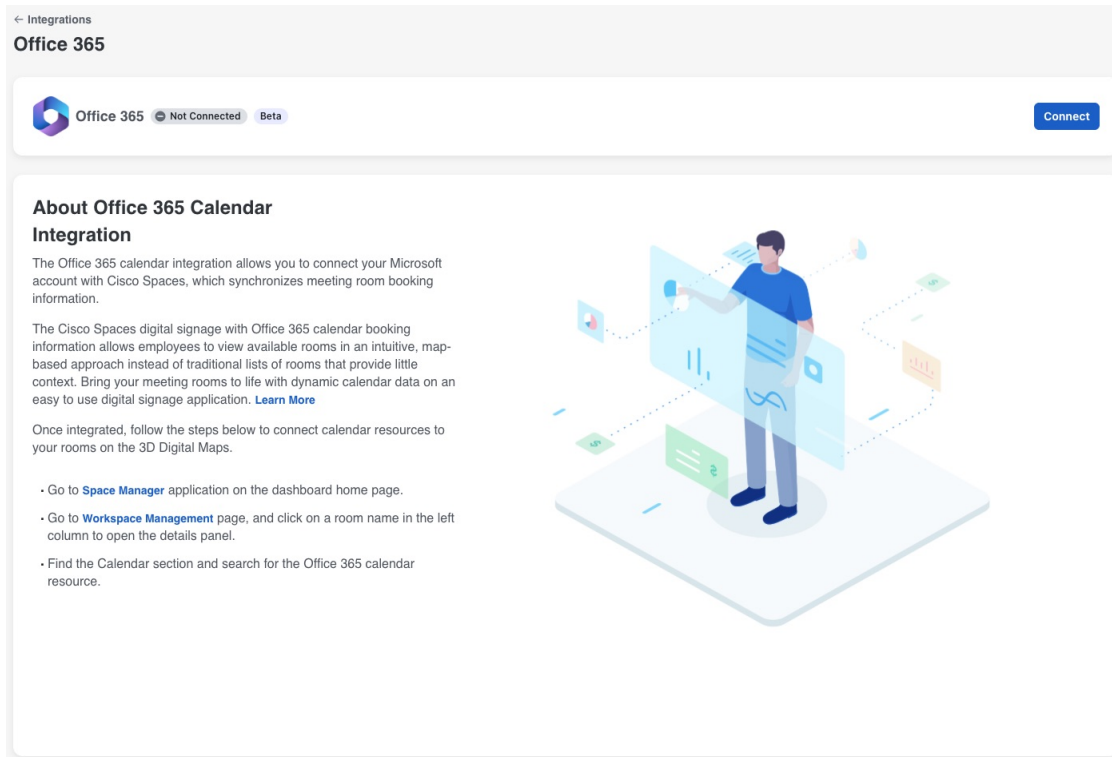
ステップ1 Cisco Spaces にログインします。

Cisco Spaces [Home] ウィンドウが表示されます。

ステップ2 左上の隅から、[Menu] アイコン (☰) をクリックし、[Integrations > Office 365] を選択します。

[Integrations Office 365] ウィンドウが表示されます。

図 2: Office 365 の統合



ステップ 3 [Connect] をクリックします。

ステップ 4 画面の指示に従って、Office 365 アカウントのログイン情報を入力して、Office 365 カレンダーを統合します。

ステップ 5 アカウントを検証したら、[Proceed] をクリックします。

ステップ 6 [Go to [dnspaces.io](#) > Continue] をクリックして、office 365 アカウントを Cisco Spaces と統合します。

「Calendar integration is successfull (カレンダーの統合に成功しました)」とのメッセージが表示されます。

ステップ 7 統合された Office 365 カレンダーの詳細は、[My Integrations] エリアで、接続されたリソース数とともに表示されます。緑色のチェックマークは、統合が成功したことを示します。

統合されたカレンダーは、Cisco Spaces : Smart Workspaces アプリケーションで使用できます。

- Office 365 カレンダーを削除するには、タイルビューで [Delete] をクリックします。
- 現在のアカウント統合を切断するには、[Disconnect] をクリックし、指示に従います。

次のタスク

3D デジタルマップで予定表のリソースを部屋に正常に接続するには、次の手順を実行します。

1. **Cisco Smart Workspaces** アプリケーションに移動します。
2. **[Workspace Management]** ウィンドウに進み、左側の列からルーム名を選択して **[Details]** パネルにアクセスします。
3. **[Details]** パネルから、**[Calendar]** エリアに移動し、Google カレンダーリソースを検索します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。